

令和5年度第1回高知県ヘルスケアイノベーション推進協議会議事要旨

- 1 日 時 令和5年10月12日（木）15:00～17:00
- 2 場 所 高知工科大学永国寺キャンパス地域連携棟4階 多目的ホール
- 3 出席者 高知県ヘルスケアイノベーション推進協議会委員（代理含む） 13名
高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトエグゼクティブコーディネータ
1名
高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトコーディネータ 2名
事務局（産業振興推進部産学官民連携課）6名
- 4 議題 （1）令和5年度高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトの取組に関する
中間報告
（2）令和6年度高知県ヘルスケアイノベーションプロジェクトの取組について
- 5 議事の経過の概要
事務局から議題について説明し、質疑等意見交換を行った。

以下、主な意見等

<（1）令和5年度の取組に関する中間報告について>

- ・特になし

<（2）令和6年度の取組について>

○プロジェクトについて

- ・プロジェクトの支援対象は、デジタルに限定せず、ディープテックも対象にした方がいい。間口を広げた方がビジネスの芽を見つけやすくなる。
- ・複数のヘルスケア関連企業を結び付けて高知県内で新サービス・製品の共同開発や販売ができるようになれば、ビジネスの加速化、さらには雇用の創出につながる。
- ・このプロジェクトでも、イノベーションエコシステム（産官学にわたる多様な組織が相互に協働、競争を続け、イノベーションを誘発するように働くシステム）の実現を目指すべき。

○ヘルスケアイノベーションプロジェクト伴走支援事業について

- ・プロジェクトにおける伴走支援を専門知識を有する外部団体に委託し、伴走支援体制を強化させることは非常に良い。

○ヘルスケアビジネスマッチング支援事業について

- ・ガバメントピッチは行政の課題解決に向けた取組だが、行政と医療・病院の課題は必ずしも一致しない。行政側の課題と医療・病院の課題をきっちり切り分けて、両者の課題を整理しながら取り組んでいって欲しい。

○ヘルスケア産業実証実験支援事業費補助金について

- ・物価高騰等も踏まえ、補助金の上限については企業へのヒアリングもしながら

見直して行って欲しい。

- 来年度の採択件数は3件（予定）とのことだがもっと増やした方がいいのではないか。
- 初年度の課題を翌年度改善していけば、年度を重ねることによりよいものに改善されていくのは当然。そうではなく、初年度に起こりえる課題を想定し、数か月でも早く解決できるような仕組みを作った方が良い。